



民間譲渡した「さわらび」と「ゆーらく」の返還を受け入れ 直売施設「山菜恵ちゃん」の指定管理者も 変更

6月定例会最終日の6月18日、本会議において令和2年度一般会計補正予算案（第4号）を賛成多数（賛成18・反対6 青山ゆたかは賛成）で可決しました。

この予算案には平成30年に民間譲渡した温泉施設のうち、3施設を運営する企業から「さわらび」、「ゆーらく」の2つを市に返還し「鶴ヶ池荘」の経営に専念したいという申し出を受け入れたことによる2施設の維持管理費499万円が盛り込まれています。

様々な観点から結果的に私は賛成しましたが、今回の返還は譲渡時の協定が3施設一体であったこと等を踏まえると、極めて公平感に欠けるものであると思います。

多額の血税をつぎ込みながら行われた民間譲渡が、2年あまりでこのような結果となった責任を市当局は問われることとなります。もちろん、民間譲渡に賛成した私たち議会も同様です。市は残る直営3施設の民間譲渡方針を変えていませんが、具体化された際には今回の反省に立ち、なお一層厳しい目でチェックしていきます。

なお、当該運営企業は山内地場産品直売施設「山菜恵（さなえ）ちゃん」の指定管理者となっていました。これも期間途中で辞退を申し出ています。このことから指定管理者を（株）ウツデイさんに変更する議案も上程され、賛成多数（賛成23・反対1 青山ゆたかは賛成）で可決しています。

議会改革度ランキング 全国 14 位に急上昇！

早稲田大学マニフェスト研究所が全国の地方議会の議会改革度をランク付けする「議会改革度調査2019」が6月18日に公表され、横手市議会は昨年の255位から14位と大幅にランクアップしました。秋田県では1位、東北では奥州市議会の9位に次ぐ順位です。この要因としては広報広聴機能が充実してきたことが考えられます。

これからも市民の皆さんから評価いただける組織を目指して、様々な取り組みに挑戦していきたいと思います。

市立小中学校の全児童生徒に “1人1台” タブレット端末導入

文部科学省が義務教育において、1人1台の学習用PCと高速ネットワーク環境等を整備する「GIGAスクール構想」の計画が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により前倒しとなりました。

それを受けて横手市では、市立小中学校の全児童生徒がタブレット端末を使用することによって学習の質の向上を図るための「小中学校ICT環境整備事業」を実施し、今年度末までに整備を完了させる計画となっています。

子どもたちが新しい時代に対応できる人材となることを期待される事業です。

あしがき



☆新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、4月以降の行事等が相次ぎ中止・延期となり、私のスケジュール帳も空白が目立ちました。

☆それでも、議会内での会議は感染予防に努めながら予定通り開催しています。今後は第2波への備えと並行して、さらなる経済・生活支援策を立案、実行していくことが大切。そのため、市議会としても様々な対応をしていきたいと思えます。



▲総務文教常任委員会の様子

ブログ「横手市議会議員 青山ゆたかの活動日記」好評(?)更新中! <http://blueyama.com/blog/>

フェイスブック：青山豊 (yutaka aoyama)